

メール基盤で運用する新しいチャット。 Delta Chat × E-Post Mail Server

～専用サーバを増やさず、メールとチャットをシームレスに二刀流運用。
データ主権を守るオンプレミス型コミュニケーションツール～

株式会社イー・ポスト（本社：東京都新宿区、代表：今西 和也、略称：E-Post）は、OSS「Delta Chat(デルタチャット)」を当社が提供するメールサーバソフト「E-Post Mail Server」で導入・運用できる構築ガイド（全 2 回）と運用上の注意点や工夫をまとめた手引き、および関連ツールを 2025 年 12 月 4 日（木）より公開しました。構築ガイドと手引きは、既存のメールシステム（SMTP/IMAP4）を用い、専用チャットサーバを増やさずに“ビジネスチャット的な使い勝手”を実現する日本語資料です。関連ツールは、Delta Chat 及び E-Post Mail Server へのアカウント自動作成と QR コード生成を行う「AUTOUSER」を公開します。

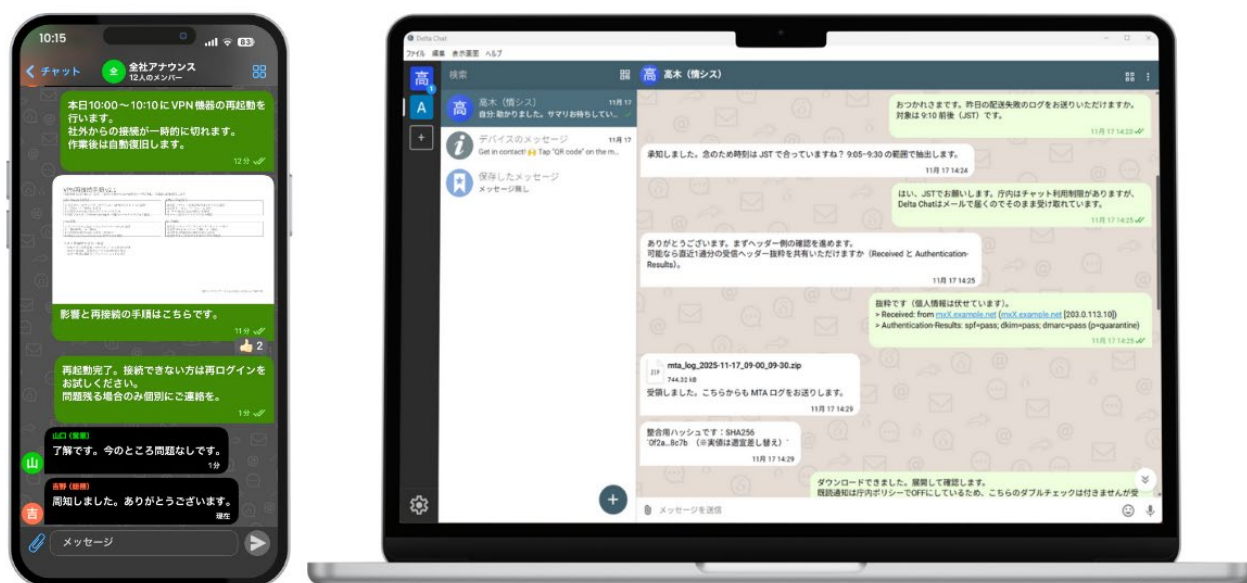
公開・開発の背景

国内の業務連絡では、一般向けメッセージャーが使われるケースが一部に残る一方、海外委託先からの個人情報アクセスが報じられた事案（2021 年）や、個人情報漏えいの公表（2023 年）を受け、データ主権やプライバシーへの懸念が高まりました。現在はクラウド型ビジネスチャットが広く利用されていますが、集中管理とサブスクリプション課金を前提とした運用が一般的で、事業者の乗り換えにはコストや手続き面の障壁が生じがちです。コロナ禍では在宅勤務の急拡大やサポート需要の増加、コスト圧力など情報システム部門の負荷増が各所で報告され、限られた予算・工数・時間での導入を迫られる“ひとり情シス”は少なくありません。さらに、連絡手段がメール中心の環境では、新規チャットの導入時に“双方が同一アプリを導入する”前提が導線のボトルネックとなり、専用チャットでも初期定着に課題が生じる例があります。こういった背景もあり、データ主権（オンプレミス／ソプリクラウド）があり、情報漏えいへの担保ができる環境や、分散型チャットへのニーズが高まっています。

当社では、オープンソースの Delta Chat に注目し、E-Post Mail Server と連携して利用できることを検証しました。新しい SaaS を調達したり、新たなチャット専用サーバを導入せず、当社の E-Post Mail Server（50User：176,000 円税別 ～ 10000User：要お問い合わせ）に Delta Chat を重ねるだけで、スレッドのような見通しや既読に近い操作感を伴う軽いコミュニケーションを短時間で実現できます。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社イー・ポスト 担当：田中隆 TEL：会社 03-5272-5386 MAIL：info@e-postinc.jp



【実際の使用イメージ画面】スレッドのような見通しや既読に近い操作感を伴う軽いコミュニケーションを実現



【想定構成図】専用のチャットサーバを立てることなく、既存のメールサーバ環境に重ねるだけで利用可能

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

株式会社イー・ポスト 担当：田中隆 TEL：会社 03-5272-5386 MAIL：info@e-postinc.jp

Delta Chat について

Delta Chat は、既存のメール（SMTP/IMAP4）を輸送層として用いる分散型メッセージングOSS です。新しい専用チャットサーバを増やさず、いま使っているメールアドレスのままメッセージをやり取りできます。（※1）UI は一般的なチャットに近く、スレッドの見通しや既読に近い操作感（※2）により、メール中心の現場にも“軽い連絡”のテンポをもたらします。暗号化は Autocrypt に基づく自動鍵交換を採用し、Secure-Join/Verified groups などの QR/リンク招待で、現場負荷を抑えた安全な初期化が可能です。

（※1）当社としては Delta Chat 専用のアカウントを用意し、受信用 IMAP4 を専用化する運用を推奨します。

（※2）受信側の設定により既読送信をオフにできるため、“既読表示”は相手の設定に依存します。

E-Post Mail Server について

E-Post Mail Server は、オンプレミス運用を前提とした国内向け国産メールサーバ製品です。20 年の運用実績（※1）を背景に、認証・暗号化・監査などの要件に配慮しつつ、既存業務フローを変えずに機能を増強できる構成を重視しています。全国 4000 台以上のサーバ、全国約 300 の各省庁・自治体・一般企業に採用（※1）を通じ、セキュリティ要件の高い国内組織で活用されています。仮想基盤では Microsoft Hyper-V/VMWare などの稼働実績があり、IaaS 型クラウド環境での使用報告事例も増えています。今回公開した構築ガイド（全 2 回）および注意・運用上の工夫手引きでは、E-Post 上で Delta Chat を利用する際の設定観点・注意点を整理。加えて、アカウント自動作成と QR 作成を行う関連ツール「AUTOUSER」を提供し、PoC～社内展開の初動工数を削減します。

これにより、既存の E-Post 環境があれば追加費用なく始められ（※2）段階導入・段階撤退に向くため、ひとり情シスでも小さく始めて確実に広がられます。

（※1）2025 年 12 月現在

（※2）運用条件によります

■ E-Post Mail Server の製品評価版はこちらからダウンロード

https://www.e-postinc.jp/download_x64.html

■ Delta Chat ははこちらからダウンロード

<https://delta.chat/en/>

■ 導入の手引き（メールサーバ構築ガイド）

【構築ガイド①メールがチャットに！新しいコミュニケーションのかたち「Delta Chat」】

https://www.e-postinc.jp/epmsent_construct_guide/kouchiku33.html

【構築ガイド②「ひとり情シス」でもできる！イントラチャット導入のススメ】

https://www.e-postinc.jp/epmsent_construct_guide/kouchiku34.html

【設定ガイド①PC(Windows)への Delta Chat の設定手順】

https://www.e-postinc.jp/epmsent_construct_guide/setup_to_windows.html

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社イー・ポスト 担当：田中隆 TEL：会社 03-5272-5386 MAIL：info@e-postinc.jp

【設定ガイド②Android スマートフォンへの Delta Chat の設定手順】

https://www.e-postinc.jp/epmsent_construct_guide/setup_to_android.html

【設定ガイド③iPhone,iOS への Delta Chat の設定手順】

https://www.e-postinc.jp/epmsent_construct_guide/setup_to_iphoneios.html

【運用上の手引き①Delta Chat × E-Post Mail Server で使用するときの注意・運用上の工夫】

https://www.e-postinc.jp/epmsent_construct_guide/setup_to_delta_epost.html

【運用上の手引き②Delta Chat セカンドデバイスで同期を取る方法】

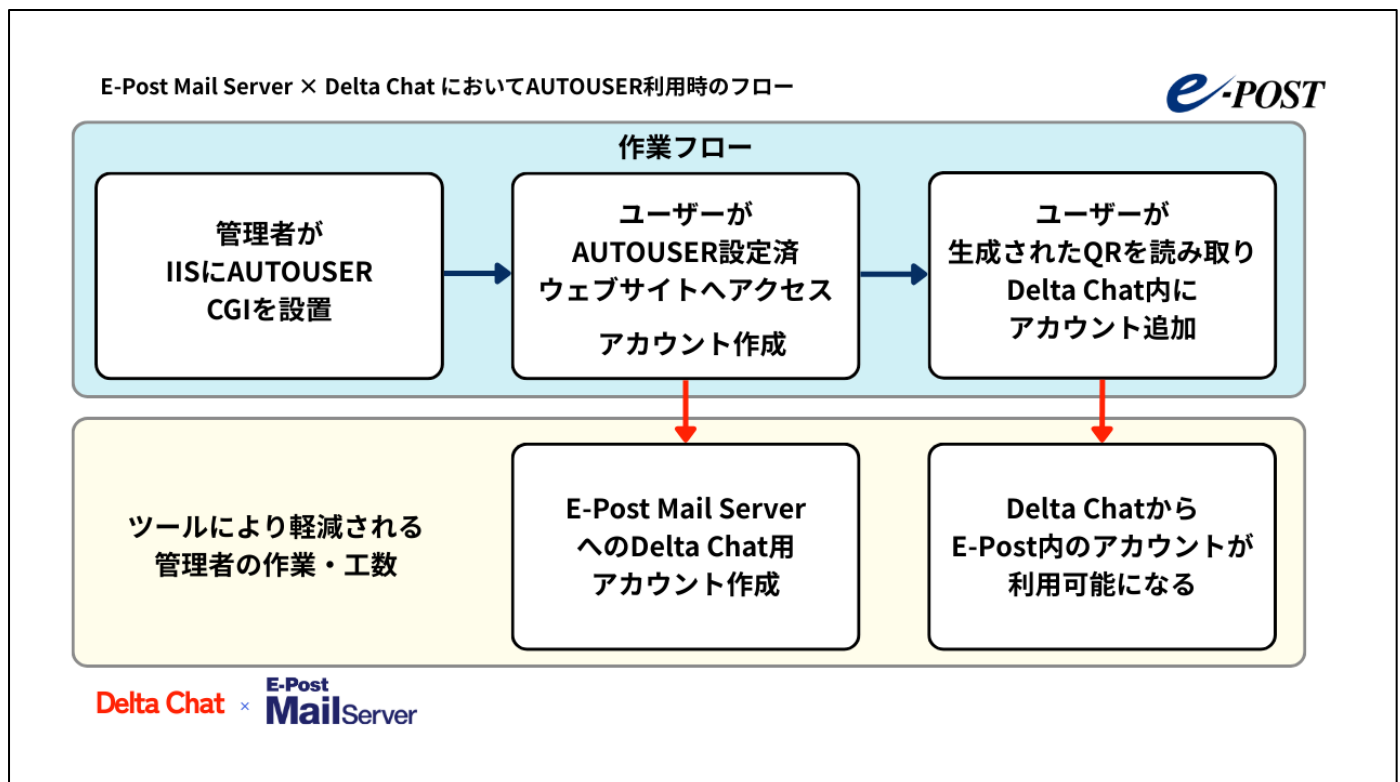
https://www.e-postinc.jp/epmsent_construct_guide/setup_to_secdevice.html

■Delta Chat 参加用アカウント自動生成と QR コード生成を行う CGI ツールダウンロード

【AUTOUSER】 ツール本体および

【DeltaChat 参加用アカウント 自動生成 CGI AUTOUSER 設定ガイド（PDF）】

https://www.e-postinc.jp/download_x64.html#autouser



【E-Post Mail Server × Delta Chat において AUTOUSER 利用時のフロー】

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社イー・ポスト 担当：田中隆 TEL：会社 03-5272-5386 MAIL：info@e-postinc.jp

今後の展開

構築ガイド・動画コンテンツなどを通してメールサーバ導入・チャット機能導入などのハードルを低くしていきます。これからも様々な取組みを続けてまいります。

株式会社イー・ポストについて

【会社概要】

社名：株式会社イー・ポスト

本社所在地：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-33-14 サンフラワービル

代表取締役：今西 和也

設立：2000年7月19日

HP：<https://www.e-postinc.jp/>

Email：info@e-postinc.jp

TEL：03-5272-5386

FAX：03-6856-9729

担当：田中隆



【事業内容】

- ・コンピュータソフトウェアの開発、販売
- ・コンピュータネットワークの企画、開発、設計及びコンサルティング
- ・デジタル情報技術の開発
- ・各前号に附帯する一切の事業

文中、製品名、会社名等は、各社の商標及び登録商標です。

記事掲載時のお問い合わせ及び、弊社製品に関する情報や質問は上記 田中隆までお願いします。